磐梯山ジオパーク協議会事務局 定期便

磐梯山ジオパーク通信 Vol.5

■ 磐梯山ジオパーク通信Vol.5

磐梯山や周辺の山々も雪で白くなる日が増えてきました。裏磐梯ではワカサギ釣りも始まり、スキーやスノーシューなど冬のアクティビティが今から待ち遠しいです。

さて、11月20日～22日に行われた再認定現地調査は予定通り全行程を終えることができました。この様子は次回のジオパーク通信でお知らせできればと思います。

早いもので2025年も今月で最後となりました。本年も皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

■ 12月８日まで『写真・パネルで巡る！！磐梯山ジオパークパネル展』開催中

11月1日より裏磐梯ビジターセンターで『写真・パネルで巡る！！磐梯山ジオパークパネル展』を開催しています。

展示には、日頃ジオサイトを案内していただいているジオガイドさんにも手伝っていただきました。ガイドさんならではの視点がギュッと詰まった展示となっています。

おすすめのジオサイトを貼るコーナーもありますので、ぜひ皆様の『ここがおススメ！』という場所をポストイットに貼って教えてください。

□ 写真・パネルで巡る！！磐梯山ジオパークパネル展

開催期間：2025年11月1日～12月8日
場　　所：裏磐梯ビジターセンター企画展示室
開館時間：冬期間9時～16時（火曜日定休）

ぜひ、ご記入をお願いします！

2025.12.1 発行

■ 活動報告：出前授業など（9月半ば～10月半ばにかけて）

● 銅沼フィールド学習（磐梯第一小学校6年生）

　磐梯第一小学校の6年生が裏磐梯スキー場の先にある銅沼（あかぬま）でフィールド学習を行いました。銅沼からは磐梯山の崩壊壁や地層が観察でき、火山について学びました。裏磐梯高原が一望できる裏磐梯スキー場からは、明治におきた磐梯山の噴火と現在の裏磐梯の成り立ちについて学びました。子ども達は磐梯山や火山について熱心に学んでしました。

● 磐梯町のジオサイトを巡るフィールド学習（磐梯第二小学校4年生5年生）

　磐梯第二小学校の4、5年生はジオガイドの案内で、磐梯山慧日寺資料館や慧日寺金堂など磐梯町のジオサイトを巡りました。生活・文化・歴史と大地との関わりをお話し、生まれ育った地域の魅力をたくさん知ってもらうことができました。担当されたジオガイドさんも磐梯町ご出身の方で、世代を超えたつながりも持つことができました。

● 10月30日ジオガイド養成講座 認定試験

　10月末に初回の試験に参加できなかった方を対象に、ジオガイド認定試験を実施しました。2回目の結果はまだ出ておりませんが、ガイド養成講座の全日程が完了しました。
　今後、1回目の合格者とあわせて皆様へお知らせしたいと思います。また、新ジオガイドの皆さんの認定式を行う予定です。新ジオガイドの顔ぶれや認定式の様子などは、またジオパーク通信でお知らせできればと思います。

2025.12.1 発行

■ 活動報告：イベント（9月半ば～10月半ばにかけて）

● 第6回 福島SDGsマルシェ『ふくしま物産展新宿』

10月25日～26日にかけてホテルリステル新宿にて開催されました。福島県の特産品が並んだほか、ホテルリステル新宿のレストラン“ファムネット”さんや新宿御苑のレストラン“under the tree”さんで磐梯山ジオパークカレーの提供も行われました。

磐梯山ジオパークからは専門員が現地で福島県や磐梯山ジオパークのPRを行いました。たくさんのお客様が訪れ、特産品やPRブースでの会話など楽しく過ごされていました。

under the tree Instagramより

● 第1回裏磐梯森林フォーラム

11月7日に行われた第1回森林フォーラムでは、近年問題となっているシカやクマなどの野生動物の件も取り上げられました。後半に行われたパネルディスカッションでは、元磐梯山ジオパーク運営委員の阿部武先生もパネリストとして登壇され、遠藤現夢によるアカマツの植林などのお話しを聞かせていただきました。質疑応答も活発に行われ、日ごろ皆さんがどのような事を思っているのかを知る良い機会となりました。講演会の様子は裏磐梯エコツーリズム協会の公式YouTubeから視聴することができます。

裏磐梯エコツーリズム協会
YouTube

https://www.youtube.com/playlist?list=PLDwRPhjUY-bDXNlmyt2BCux3pScezXnAl

■ お知らせ（講演会）

●1月8日インタープリテーション研修会（事前告知）

磐梯朝日国立公園吾妻・猪苗代地域で進められているインタープリテーション全体計画というプロジェクトについて、今後の運用にあたり講演会と研修会が開催される事となりました。

現在情報が来ている開催日と講師の情報を予めお知らせいたします。ぜひ皆様にご参加いただければと思います。
なお、詳細は追ってご連絡いたします。

インタープリテーション研修会（仮題）

開催日：2026年1月8日（木）

講　師：川島 直 氏
（日本インタープリテーション協会前理事、日本環境教育フォーラム首席研究員）

内　容：インタープリテーション全体計画の活用や地域への効果、インタープリテーション技術や手法を学ぶ講演と研修

■ お知らせ（その他）

＝＝＝今後のおおまかな予定＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

①第14回磐梯山ジオパークフォーラム
開催月：1月または2月
開催場所：猪苗代町
再認定の結果報告とジオガイド認定式を行う予定です。

②アドバイザー招へい事業による講演会
開催月：2月
講師をお呼びして、講演会を行う予定です。

③既存ガイド向けガイド研修会
ジオガイドの皆様のスキルアップ研修を予定しています。
開催月：1月または2月

詳細は決まり次第お知らせいたします。

■ ジオサイト紹介　A桧原湖北岸エリア4：グリーンタフ露頭　地形・地質サイト

　桧原湖北西岸の桧原集落から南西方の蘭峠（あららぎとうげ）を越え、大塩峠に到る道路沿いには、1400万～1800万年前の地層である桧原層と五枚沢川層が露出し、この地域が海底だった証拠を示す貝化石や海底火山噴出物が見出されています。
　中新世に東北地方日本海側には膨大な量の海底火山による噴出物が堆積しました。これらは緑色（グリーン）をした凝灰岩（タフ）であることからグリーンタフと呼ばれています。1000万年前以降に進んだ海面の低下と地盤の隆起により海域であったこの地域が陸域となりました。

■ 用語集

中新世（ちゅうしんせい）
地質時代の区分の一つで2300万年前～530万年前にあたります。温暖化により海の範囲が広がりましたが、後半には寒冷化が進行しました。

グリーンタフ
およそ1500万年前の日本海側の地層に見られる岩石で、火山噴出により海底に堆積したものです。グリーンタフは凝灰岩だけでなく溶岩などこの時代の海底火山活動によってできた地層を指す言葉として使われています。

火山噴出物（かざんふんしゅつぶつ）
火山活動によって地表に噴出された物質の総称です。

凝灰岩（ぎょうかいがん）
火山から噴出された火山灰が地上や水中に堆積してできた岩石です。

堆積（たいせき）
地質学では、土砂などが河川、潮流、風などにより運ばれ積み重なる現象を指します。この過程で地層が形成されます。

磐梯山ジオパーク協議会は猪苗代町、磐梯町、北塩原村が中心となり26の民間団体と行政機関が運営に携わり活動しています。
「大地と人と自然の物語」という大地とのつながりをテーマに教育・保全・地域振興などにかかわる活動を行っています。

磐梯山ジオパーク協議会事務局
〒969-2701
福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093
（裏磐梯合同庁舎内）
TEL/FAX：0241-32-3180
E-メール(代表)：bandaisan.geo@gmail.com

2025.12.1 発行